

海陽 彩都

芸南ふれあい交流マガジン
かいようさいと 2007年6月・7月・8月
発行:呉地方拠点都市地域推進協議会

「特集」



NO.37
夏号

読者プレゼント

呉の元祖スイーツ!?

大和ラムネ(3本セット)…5名様。

吉浦のせせ酒

水龍原酒「ひや」(900ml) 3名様。

■応募方法／ハガキに「大和ラムネ」または「水龍のお酒」希望と書いて、住所・氏名・年齢・職業・電話番号、そして本誌に対するご意見、ご感想をお書き添えのうえ、下記までお寄せください。

※お便りの感想など本誌でご紹介させていただくことがあります。匿名希望の方は、あらかじめベンチームをお書き添えください。※ご記入いただいた個人情報は他の目的では使用いたしません。

■あて先／〒737-8501

呉市中央4丁目1-6

呉市広域行政推進室

『海陽彩都』プレゼント係

※メールでの応募も受け付けています。
件名に「海陽彩都No.37プレゼント係」と入力し、次のアドレスまで
koikigyo@city.kure.lg.jp

■締切り／平成19年8月31日消印有効

■発表／プレゼントの発送をもって発表に
かえさせていただきます。

戦艦「大和」でも
造られていたという
ラムネの復刻版
●(株)中元本店
呉市三条1丁目4-8
☎0823-40-2770



冷やでも
オンザロックでも楽しめる
水龍原酒「ひや」(900ml)
●中野光次郎本店
呉市吉浦中町2丁目7-10
☎0823-31-7001



芸南ふれあい交流マガジン

海陽彩都

町じまん
人じまん

海陽彩都 No.37
平成19年(2007)6月1日発行

編集：ギミック都市生活研究所

©KURESHIKOUIKIGYOSEI&GIMMICK Printed in Japan

★本誌掲載の記事・写真・地図・イラストなどの無断転載を禁じます。

★この冊子は再生紙を使用しています。

発行：呉地方拠点都市地域推進協議会
呉市企画部広域行政推進室
〒737-8501 広島県呉市中央4丁目1-6
TEL 0823-25-3286 FAX 0823-21-8849
URL <http://www.kurearea.kure-u.ac.jp/ver2/>
E-mail koikigyo@city.kure.lg.jp

芸南おもしろウォッチング その⑬



呉線でいちばん古いレールでできた跨線橋(大正15年完成)。足元には当時のホームに使われた御影石の石畳がそのまま残る。

ホームスイートホーム がんばれ!! 吉浦駅 104歳

明治36年、呉線(広島-呉間)の開通により誕生した吉浦駅は、呉線でいちばん古い駅舎とホームが残るレトロな駅。人間でいうと104歳になる大長寿だ。古くから呉市の商港として栄えた吉浦港をひかえていたため、利用者はピーク時には年間290万人を超えていたという。高い天井、木組みが美しい木造の駅舎は、途中いろんな変遷があったが、構造的には開業当時のまま。呉線を代表する大駅としての存在を改めて感じさせる立派な駅舎建築だ。ホームに出ると大正15年に完成したという呉線ではじめての跨線橋が今も現役で活躍。こちらは81歳。この懐かしさが嬉しい!がんばれ!吉浦駅。

会えてよかったです! (おでかけマップ④)



国道31号線から見た吉浦駅。呉でいちばん古い木造の駅舎だ。



「かあちゃんただいまー暑いけーなんか冷たいもんある?」「ラムネならあるよー」その時飲んだ甘くて冷たいのどごしを夏になると毎日のように思い出す。芸南には、そんな懐かしくふる里を思い出すラムネとひんやりスイーツが、がんばっているのだ。それにしてもラムネ屋のおやじ元気かなーかあちゃんに会いたいなー。

路地裏のラムネ屋
室尾という昔からの港町にアサヒラムネがあり、100年近くも愛されている。うしろに見えるのは室尾にある鉄湯。

吳・三条
中元本店

トビキリ
マークが
目印です



事務所で
ピッカピカに輝く
「トビキリ」の額。

大和一ラムネ

大和の乗り組員に愛された
トビキリの味



大和ラムネ 600円 [3本セット]
大和をイメージした瓶のラベルを貼り、
レトロなイメージがお土産物として人
気。さっぱりと爽やかなラムネだ。



「吳に来たら是非
飲んでみて！」と
順一朗さん。

マサキ
トビキリ
は確実に引き継がれて
いる。



ラベル貼りはひとつひとつ丁寧に(右)。ラム
ネとびきりらしいと人気の飲料水「パレード」
は市内の駄菓子屋や銭湯などに置かれている。



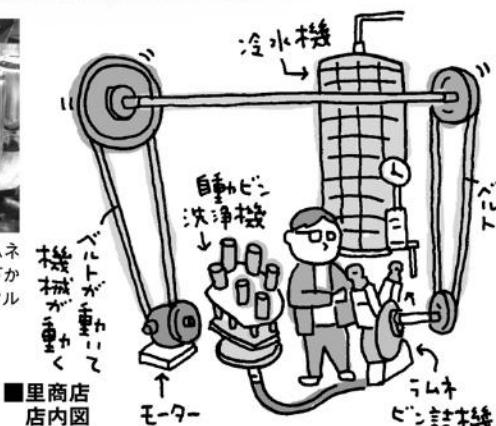
古く立派な建物などが残
る三条は、レトロな町並みが
印象的な吳の下町。



中元本店 ●吳市三条1丁目4-8
☎ 0823-25-4644 FAX 0823-25-5854
◎ 8:00~17:00 休土・日・祝

<http://tobikiri-n.com>

* 大和ラムネは大和ミュージアムや吳そごうにて販売。
通常版ラムネは市内のスーパーなどで購入できる。



■里商店
店内図

港町の入り組んだ細い路地を行
くと、地元や観光客に根強い
人気がある通称「里ラムネ」と
アサヒラムネを作る里商店があ
る。工場ではすごい音とともに
ベルトで繋がった機械がいつせい
に動きだす。年代モノの機械を
修理・改良しながら夫婦二人で
1回1,500本のラムネを詰
める。「えらい（しんどい）仕事じ
やけど、みんなが喜ぶけー続
んといけんと思うんよ」と今年
64歳になる里さん。港町に生き
続けている小さなラムネ屋さん。
いつまでも元気にラムネを作り
続けてほしい。

倉橋・室尾
里商店

これぞ、家内制手工業
創業96年、港町のラムネ屋さん

アサヒラムネ

冷たくて飲んでね



アサヒラムネ
100円 [温泉館価格]
ちょっと甘めの懐かし
い味がするアサヒラ
ムネ。ラムネ瓶は全
てリサイクル。回
収にご協力を!



江戸時代、商業・漁業の町として賑わった室尾。町を歩けば今もその面影が残る。

工場で発見したラムネ瓶の洗浄機。水が下から勢いよく吹き出しケルクル回る。



一本一本手作業でラムネを詰
める里さん。1回約2時間の
立ち仕事は大変。

里ラムネ ●吳市倉橋町室尾
☎ 0823-54-0317
☎ 0823-54-0219 (休)不定休
※桂浜温泉館でも購入できる



おすすめの上撰水龍を手にする四代目中野光次郎当主。趣味は映画とパフォーマンス、侮れないAB型だ。

おすすめの上撰水龍を手にする四代目中野光次郎当主。趣味は映画とパフォーマンス、侮れないAB型だ。
吉浦駅を降り、懐かしい路地を抜け、ゆるやかな坂道のある路地を迷いながら上がっていくと古い蔵とレトロな洋館が合体したシハイ建物が現われる。ここが吉浦の地酒「水龍」の酒蔵だ。「吉浦は路地が多いですよ。住んでいた自分でも時々迷うんですよ」と声をかけてくれたのが四代目中野光次郎当主だ。まだ34才という若さ、当主というよりミュージシャンのような風貌だ。彼が光次郎の名を継いだのは幼稚園の時。幼い頃から自分の運命が決まって

水龍

すいりゅう
芸南の
酒蔵めぐり
その⑤



駅前商店街アーケード入口にある水龍のネオンサイン。

吉浦の地酒スイリュウ 四代目光次郎の冒険

いたことについて、ブレッシャーはなかつたという。なんだかタダモノではない予感。トコトン地酒にこだわるという水龍の酒づくりを聞いた。「全國どこで飲んでも同じ味、香りのする吟醸酒にはあまり興味がないんです。データばかり重視され、風土を感じられません。自分がつくりたいのは吉浦の地酒です」とキッパリ言い切る光次郎氏。現在、父である道仏英輔社長とほぼ一人で酒づくりの行程をま



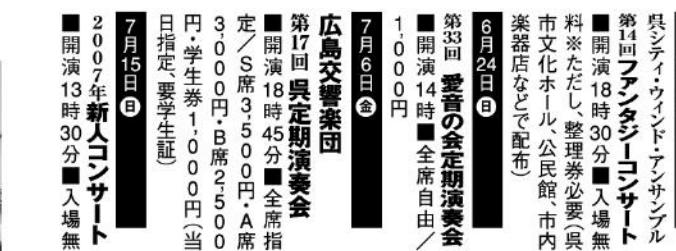
創業120年を迎える水龍の蔵。まるで大林監督の映画に出てきそうな懐かしい通りにある。

かなっている。当主、杜氏、蔵人の三役はもちろん、彼は商品企画・イベントプロデュース、ラベルデザインまですべて一人でこなすマルチ人間なのだ。学生時代、アマチュア映画の製作に明け暮れていた映画人間だったからできることなのか?クリエイティブな発想から生み出されるヒット商品も多い。まるで映画づくりを楽しんでいる。当分、四代

呉市吉浦中町2-7-10
(センター・マップP)

0823-34-7001 http://suiryu.info

中野光次郎本店



文化施設からのお知らせ

大和ミュージアム

7月16日(水)

大和ミュージアム

9時～12時

対象／小

学生以下「参加賞有り」

雨天中止(マップH)

0823-25-3017

※詳細はお問合せください

吳市文化ホール(マップ◎)

0823-25-7878

※詳細はお問合せください

吳市文化振興財団

0823-25-7878

※詳細はお問合せください

吳市文化ホール(マップ◎)

0823-25-7878

